

《第92回》楠6町内子ども会（19）「クリスマス会」 育成会会長 石川裕美・庄島彩華

2023年12月17日（日）に楠6町内の集会所にて、クリスマス会を行いました。

今回は、「子ども達主体でしょう！」と計画しましたので、5年生中心に司会進行を行い、6年生がクリスマスの絵本の読み聞かせをするなど、高学年の子達が緊張しながらもみんなの前に立って進めてくれました。

チームに別れて行ったゲーム（新聞紙玉入れ、ジェスチャーゲーム、王様ゲーム）は、保護者もサポートしながら、とても盛り上がりました！チーム毎に考えたり、話し合ったり、仲良く出来たとと思います。

楽しんだゲームの後は、お待ちかねのクリスマスパーティースタート！

わた菓子やポップコーン、クリスマスケーキなどみんなでワイワイしました。子ども達、保護者みんな笑顔で過ごせました！

最後にクリスマスプレゼントを貰えた子ども達。笑顔溢れていました！



5年生を中心に司会進行





6年生による クリスマス絵本の 読み聞かせ



新聞紙玉入れ



わた菓子作り：セルフサービス



興味津々・真剣そのもの



クリスマスケーキ



子どもたちが頑張って、楽しいクリスマス会になりました。
ご協力頂いた保護者の皆さん、ありがとうございました。

《事務局から》

事務局長 白石和典

- ① 活動報告ありがとうございました。5年生中心に司会進行を行い、6年生がクリスマスの絵本の読み聞かせを行うなど、運営や活動を「子ども達主体」されたことが大変素晴らしいです。市子協の理念である「子どもによる 子どものための 子ども会活動」が正に実践されています。この活動には当然、いろんところで保護者の支援が必要ですが、今回のように子どもたちで出来るところは、なるべく子どもたちに主体性を持たせることが大切です。「高学年の子は緊張しながら……」この体験が良いですね。これからの社会を生き抜く力になってくると思います。
- ② このように高学年の子どもが主体的に運営すると、その活動の中で高学年の子が低学年の子をいたわる（配慮する）場面も多くあると思います。異年齢集団の良さが表れると思います。これからも、計画・実践に子どもたちが主体的に関われるよう、育成会で支援をして頂きたいと思います。